津和野町埋蔵文化財報告書第９集

津和野町内遺跡発掘調査報告書４

2009年３月

島根県津和野町教育委員会

津和野町内遺跡発掘調査報告書４

2009年３月

島根県津和野町教育委員会

序　　文

山陰の小京都として知られる津和野町には、恵まれた自然環境の中で先人たちが生活していた証である貴重な文化財が数多く残されています。

今回、町内での開発事業に先立って試掘・確認調査をおこないました。調査の結果、縄文時代から近代にかけての遺跡が存在していることが明らかとなり、町内の歴史の一端が次第に明らかになってきました。

本書が埋蔵文化財の理解・普及に寄与し、学校教育・社会教育・学術研究の一資料として活用していただければ幸いです。最後になりましたが、発掘調査に際して多大なご理解・ご協力をいただきました関係各位に対し、心より厚く御礼申し上げます。

平成21年３月20年

津和野町教育委員会

教育長　齋藤　誠

例　　言

1．本書は津和野町教育委員会が文化庁、島根県の補助を受けて平成18～20年度（2006～2008）に実施した、津和野町内遺跡の試掘確認調査・学術調査（保存目的）報告書である。

2．調査体制は、下記のとおりである。

調査指導　島根県教育委員会文化財課
調査主体　津和野町教育委員会
事務局　　津和野町教育委員会　教育長　斎藤　数弘（平成19年12月５日まで）
　　齋藤　誠　（平成19年12月６日から）
　　教育次長　廣石　修
　　文化財係長　中井　將胤
　　文化財係主任主事　米本　潔
調査員　　文化財係主任主事　宮田　健一
調査補助員　　嘱託　永田　茂美
　　嘱託　椋木　牧子
　　嘱託　麻野　遥

3．発掘調査に際しては、土地所有者をはじめとして、地元の方々に始終多大な協力をいただいたことに、ここに感謝の意を表したい。

4．今回の調査において、現場あるいは編集に利用した地図は、都市計画図の1／2,500、津和野町管内図の1／25,000等を使用した。また調査地点名は全て大字や小字をもって称することとし、末尾に地区を附して統一している。

5．調査に伴う記録類および出土遺物は、津和野町教育委員会で保存している。

6．本書は中井が編集に当たり、宮田・永田・椋木・麻野の協力を得た。

7．平成17年（2005）９月25日、旧津和野町と旧日原町が合併し新津和野町となった。

8．なお、第３章にある「津和野藩御殿跡」（県指定史跡）は、平成19年（2007）７月26日に「津和野城跡」の追加指定となり、国指定文化財となった。
また、徳城往還（町指定史跡）は平成21年２月12日「山陰道　徳城峠越・野坂峠越」として国指定文化財となった。

目　次

第１章　はじめに …… 1

第２章　試掘調査概要 …… 5
第１節　平成18年度（2006） …… 5
第１項　鷲原地区 …… 5
第２項　森村地区 …… 8
第３項　滝元地区 …… 12
第４項　柳地区 …… 14
第５項　森村地区 …… 16

第２節　平成19年度（2007） …… 19
第１項　左鐙地区 …… 19
第２項　寺田地区 …… 21
第３項　後田地区 …… 21
第４項　鷲原地区 …… 27
第５項　枕瀬地区 …… 30

第３節　平成20年度（2008） …… 33
第１項　鷲原地区 …… 33

第３章　学術調査概要（保存目的） …… 36
第１節　津和野藩御殿跡・津和野城跡 …… 36
第１項　はじめに …… 36
第２項　津和野藩御殿跡 …… 36
第３項　津和野城跡 …… 48

第２節　山陰道　野坂峠越・徳城峠越 …… 57
第１項　はじめに …… 57
第２項　調査の場所 …… 57
第３項　調査対象の文化財及び調査面積 …… 57
第４項　調査の内容 …… 57

第３節　旧堀氏庭園 …… 72
第１項　はじめに …… 72
第２項　平成19年度（2007） …… 73
第３項　平成20年度（2008） …… 82

図・挿図　目次

第１図　位置図 …… 1
第２図　調査地位置図 …… 3-4
第３図　鷲原地区試掘調査配置図 …… 6
第４図　森村地区試掘調査配置図 …… 9
第５図　滝元地区試掘調査配置図 …… 12
第６図　柳地区試掘調査配置図 …… 14
第７図　森村地区試掘調査配置図 …… 17
第８図　左鐙地区試掘調査配置図 …… 19
第９図　寺田地区試掘調査配置図 …… 21
第10図　後田地区試掘調査配置図 …… 25
第11図　鷲原地区試掘調査配置図 …… 28
第12図　枕瀬地区試掘調査配置図 …… 30
第13図　鷲原地区試掘調査配置図 …… 34
第14図　津和野藩御殿跡トレンチ配置図 …… 36
第15図　Ｔ－１　平面・断面図 …… 37
第16図　Ｔ－２～３　平面・断面図 …… 38
第17図　Ｔ－４　平面・断面図 …… 39
第18図　Ｔ－５　平面・断面図 …… 40
第19図　Ｔ－６～７　平面・断面図 …… 41
第20図　津和野城跡調査配置図（後田地区） …… 49
第21図　津和野城跡調査配置図（鷲原地区） …… 50
第22図　山陰道調査配置図（野坂峠越） …… 59
第23図　山陰道調査配置図（徳城峠越） …… 60
第24図　旧堀氏庭園位置図 …… 72
第25図　旧堀氏庭園調査配置図（平成19年度） …… 75
第26図　平成20年度調査　Ａ区北壁土層図 …… 83
第27図　平成20年度調査　Ｂ区東壁土層図 …… 83
第28図　旧堀氏庭園調査配置図（平成20年度） …… 84

図版　目次

図版１　１．発掘調査前
２．発掘調査の様子
３．井戸の発掘状況
４．発掘調査後
５．出土した陶磁器
６．出土した瓦

図版２　１．調査Ａ地点
２．完掘状況
３．土層（北壁）
４．遺構検出状況
５．出土遺物（上層）
６．出土遺物（下層）

図版３　１．調査Ｂ地点
２．土層（西壁）
３．調査状況
４．遺構検出状況
５．出土遺物（上層）
６．出土遺物（下層）

図版４　１．発掘調査風景
２．完掘状況

図版５　１．発掘調査風景
２．完掘状況

図版６　１．試掘調査地近景
２．試掘調査土層断面図

図版７　１．調査地点近景
２．完掘状況

図版８　１．試掘確認調査状況
２．集石土坑中の割石検出状況

図版９　１．残置石（矢穴石）の確認状況
２．残置石（矢穴石）の側面

図版10　１．集石と石列を検出
２．第２遺構面
３．第３遺構面
４．発掘終了状況
５．調査地点近景
６．出土遺物

図版11　１．集石を検出した状況
２．枡形石組遺構を検出
３．擂鉢の出土状況
４．集石を除去後、
遺構を発掘した状況
５．出土遺物（陶磁器類）
６．出土遺物（陶磁器類・古銭）

図版12　１．調査地点近景
２．完掘状況

図版13　１．土層堆積状況
２．代官所跡

図版14　１．完掘状況
２．調査地点近景
３．出土遺物

図版15　１．Ｔ－１（西から）
２．Ｔ－１（石積遺構）
３．Ｔ－２（東から）

図版16　１．Ｔ－２（北から）
２．Ｔ－３（西から）
３．Ｔ－３（石積遺構）

図版17　１．Ｔ－４（北から）
２．Ｔ－５（西から）
３．Ｔ－５（石積遺構）

図版18　１．Ｔ－６（北から）
２．Ｔ－６（瓦敷遺構）
３．Ｔ－６（北から）

図版19　１．Ｔ－７（東から）
２．Ｔ－７（石積遺構）

図版20　１．出土遺物（陶磁器類・瓦類）
２．出土遺物（瓦類）
３．出土遺物（瓦類）

図版21　１．草木伐採後の遺構現況
２．湧水穴の現況

図版22　1．石垣発掘状況
　　2．石垣裏トレンチ発掘状況

図版23　1．出土遺物（陶磁器類）
　　2．出土遺物（土製品）
　　3．出土遺物（瓦類）
　　4．出土遺物（瓦類）

図版24　1．水路発掘状況と
　　石製品出土状況
　　2．水路発掘状況

図版25　1．水路南側の石垣と下部堆積土
　　2．石製品出土状況

図版26　1．出土遺物（土製品・瓦類）
　　2．出土遺物（陶磁器類・古銭）
　　3．出土遺物（石製品）
　　4．出土遺物（瓦類）

図版27　1．トレンチ１　調査前
　　2．トレンチ１　暗渠遺構
　　完掘状況（上から）
　　3．トレンチ１　暗渠遺構
　　完掘状況（横から）

図版28　1．トレンチ２　横断溝完掘状況
　　2．トレンチ２　横断溝完掘状況
　　（上から）

図版29　1．関所跡
　　2．関所跡

図版30　1．トレンチ４　調査前
　　2．トレンチ４　完掘状況

図版31　1．トレンチ５　完掘状況
　　2．トレンチ６から７を見る
　　3．トレンチ７　完掘状況

図版33　1．トレンチ８から７（調査前）
　　2．トレンチ８　完掘状況
　　3．トレンチ８から７（調査後）

図版33　1．旧国道沿い全景（北から）
　　2．旧国道の石垣(明治期)と石碑
　　3．出土遺物

図版34　1．トレンチ１付近　調査前状況
　　2．トレンチ１　土層堆積状況

図版35　1．トレンチ２付近　調査前状況
　　2．トレンチ２　土層堆積状況

図版36　1．トレンチ３付近　調査前状況
　　2．トレンチ３　完掘状況

図版37　1．トレンチ４付近　調査前状況
　　2．トレンチ４付近石垣

図版38　1．Ａ区発掘状況全景（西より）
　　2．Ａ区タタキ②および
　　木材検出状況

図版39　1．Ｂ１区発掘状況全景
　　（南西より）

　　2．Ｂ区14号遺構（土坑）
　　半掘状況（南より）

図版40　1．Ｂ２・３区発掘状況全景
　　（北東より）
　　2．Ｂ区18号遺構(雨落ち溝)の
　　発掘状況（北より）

図版41　1．Ｃ区発掘状況全景（南西より）
　　2．Ｃ区発掘状況全景（北より）

図版42　1．Ｃ区１号遺構（水溜遺構）の
　　発掘状況（北より）
　　2．Ｃ区２号遺構（導水溝）の
　　発掘状況（北より）

図版43　1．出土遺物
　　2．出土遺物

図版44　1．Ａ区　北壁
　　2．Ｂ区　東壁

図版45　1．出土遺物
　　2．出土遺物

第１章　はじめに

１．調査目的

この事業は、町内で頻発する民間事業・公共事業に対応するため、発掘調査・踏査を実施することによって、町内に所在する埋蔵文化財を適切に保護し、将来に向けて保存を図ることを目的とする。また、遺跡等の保存を目的とした学術調査を実施する。

２．調査の経過

津和野町教育委員会では、開発事業に際して文化財の有無照合があった場合、試掘調査をおこない、埋蔵文化財の遺存状況の確認に努めている。

３．調査地点

実施した試掘調査・学術調査は第１表の通りである。また調査場所については、第２図に記した。なお、第２図に記されている番号は、第１表の番号と一致する。（番号は調査順とする。）

番号	年度	月	遺跡名・地区名		住所
1	18(2006)	4月	鷲原地区	（試掘）１ケ	津和野町鷲原ロ186
2	18(2006)	6月	森村地区	（試掘）２ケ	津和野町森村ロ82番の5他
3	18(2006)	7月	滝元地区	（試掘）１ケ	津和野町滝元1712
4	18(2006)	9月	柳地区	（試掘）１ケ	津和野町柳村962他(鬼ヶ峠)
5	18(2006)	11月	森村地区	（試掘）１ケ	津和野町森村イ6−2
6	18(2006)	6月～	津和野藩御殿跡調査	（学術）７ケ	津和野町後田地内
7	19(2007)	5月	左鐙地区	（試掘）１ケ	津和野町左鐙773−4
8	19(2007)	9月～	寺田地区	（試掘）１ケ	津和野町寺田765−1
9	19(2007)	9月	後田地区	（試掘）１ケ	津和野町後田ロ60−35
10	19(2007)	11月	鷲原地区	（試掘）１ケ	津和野町鷲原ロ146･147番地
11	19(2007)	1月	枕瀬地区	（試掘）１ケ	津和野町枕瀬
12	19(2007)	4月～	津和野城跡	（学術）２ケ	津和野町後田･鷲原地内
13	19(2007)	8月～	山陰道　野坂峠越・徳城峠越	(学術)12ケ	津和野町中座･柳･冨田他
14	19(2007)	11月～	旧堀氏庭園	（学術）10ケ	津和野町邑輝地内
15	20(2008)	5月	鷲原地区	（試掘）１ケ	津和野町鷲原
16	20(2008)	6月	旧堀氏庭園	（学術）３ケ	津和野町邑輝地内

第１表　試掘調査・踏査一覧

4．位置と歴史的環境

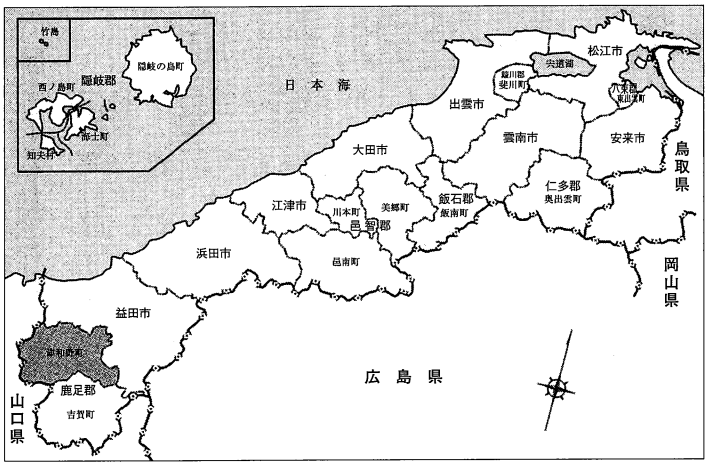
津和野町は、島根県西部に位置し（第１図）し、平成17年９月25日に合併が行われたため、現在では北・東側が益田市、南側が吉賀町、西側が山口県に接した位置に存在する。

そして東西27㎞・南北19㎞を測り、総面積が307.09k㎡となる。

また、総面積の約８割以上が山林で、高津川や津和野川の流域とその支流が入り込み、流域に市街地・集落・農地が点在し、まさに典型的な中山間地域である。

津和野町には、これまでに多くの遺跡等が確認され発掘調査等を実施している。そして、いまのところ後期旧石器時代にまで遡る。旧石器は町内で唯一ナイフ形石器が喜時雨（きじゅう）遺跡から出土している。高田遺跡、山崎遺跡からは押型文土器が出土している。また高田遺跡からは中期の阿高式（あたかしき）、後期中頃の鐘崎式（かねざきしき）土器がまとまって発見され、対岸の大蔭（おおかげ）遺跡からは後期後半の西平式（にしびらしき）土器が採集されるなど、当時この地域が九州地方の情報の及ぶ範囲であったことが窺える。

弥生時代後期後半から古墳時代前期にかけての集落が高田遺跡で確認され、在地の土器群に混じって吉備地方から運ばれてきた外来の土器が発見されている。



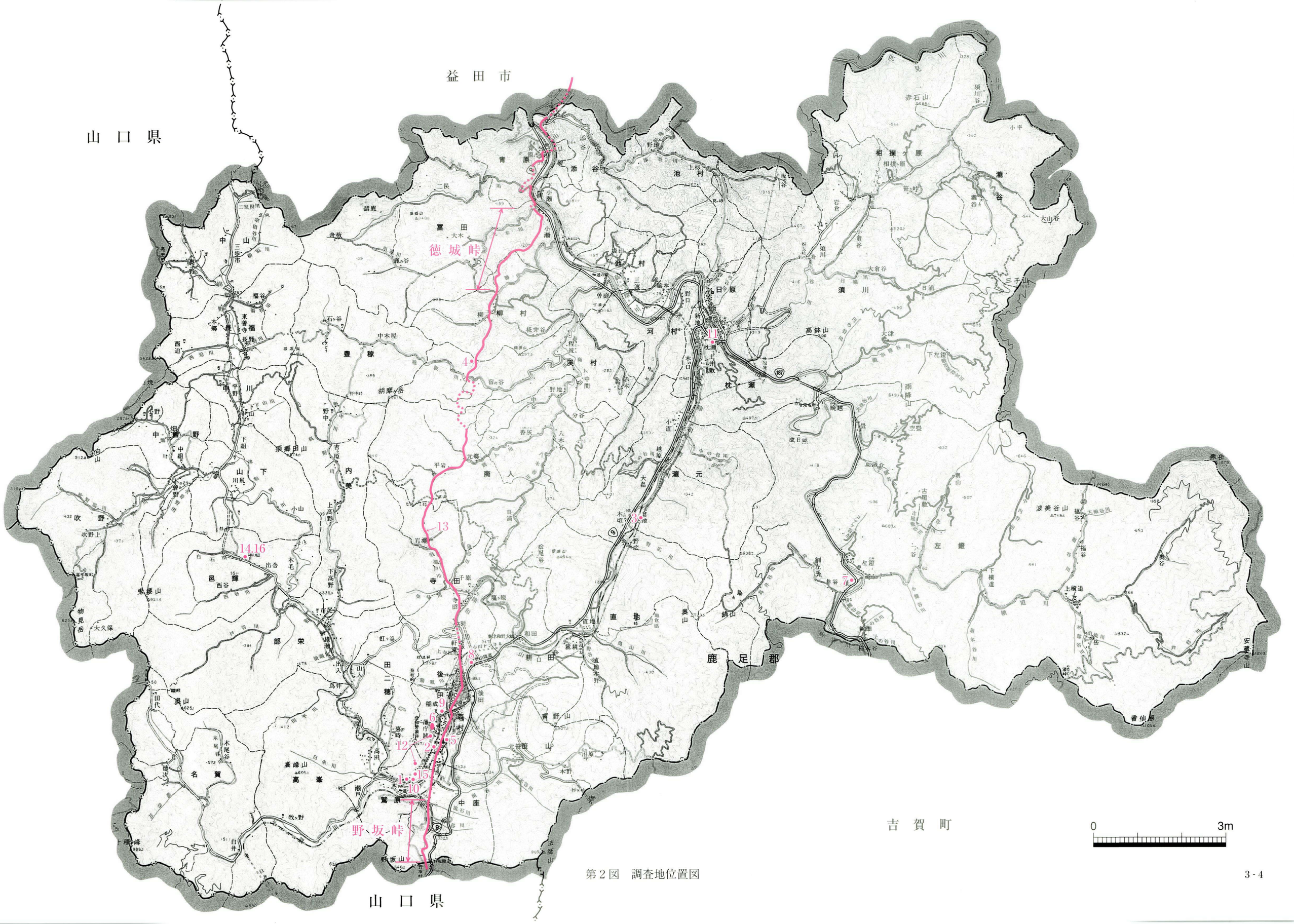
第１図　位置図

町内の古墳は、津和野川最上流の木部地区に鍛冶原（かじばら）古墳群などが、確認されている。

高田遺跡からは奈良・平安時代の緑釉陶器・皇朝十二銭の一つ、承和昌寶（836年初鋳）・大量の土師器・須恵器が発見されており、当時石見国鹿足郡能濃郷（元美濃郡鹿足郷）と呼ばれていたこの地域の重要な拠点が高田地区にあったものと思われる。

中世津和野の領主吉見（よしみ）氏は、弘安５（1282）年に元寇再防備のため能登国から津和野北部の木部地区に入り、その後14Ｃ代に津和野城を構えたと伝えられている。文献では吉見氏入部以前の記録はほとんど残されていないが、これまでの高田遺跡の発掘調査では12・13Ｃ代の白磁が大量に出土しており、吉見氏入部以前に津和野地方に有力者が存在していたことが考古学的証拠によって明らかになりつつある。中世の津和野城の大手口は近世以降の大手口とは反対側の喜時雨（きじゅう）にあったと伝えられ、吉見氏の居館も同時に存在していたとするのが通説である。

関ヶ原の役後、吉見氏は毛利氏に伴い萩に移るが、その後坂崎出羽守（さかざきでわのかみ）の16年間の治領となり、津和野城の大改築・城下町整備など、現在の町並みの基礎となる大事業が行われた。その後、亀井氏11代225年間の治世を経て明治維新を迎えることとなる。



第２図　調査地位置図

第２章　　試掘調査概要

第１節　平成18年度（2006）

第１項　鷲原地区

①住所　　津和野町鷲原ロ186

②調査原因　　個人住宅新築予定

③調査内容　　新築予定範囲のうち、浄化槽設置予定地を対象にし、試掘調査を１ヶ所実施。

④調査結果　　遺跡（城下町遺跡）の存在を確認した。

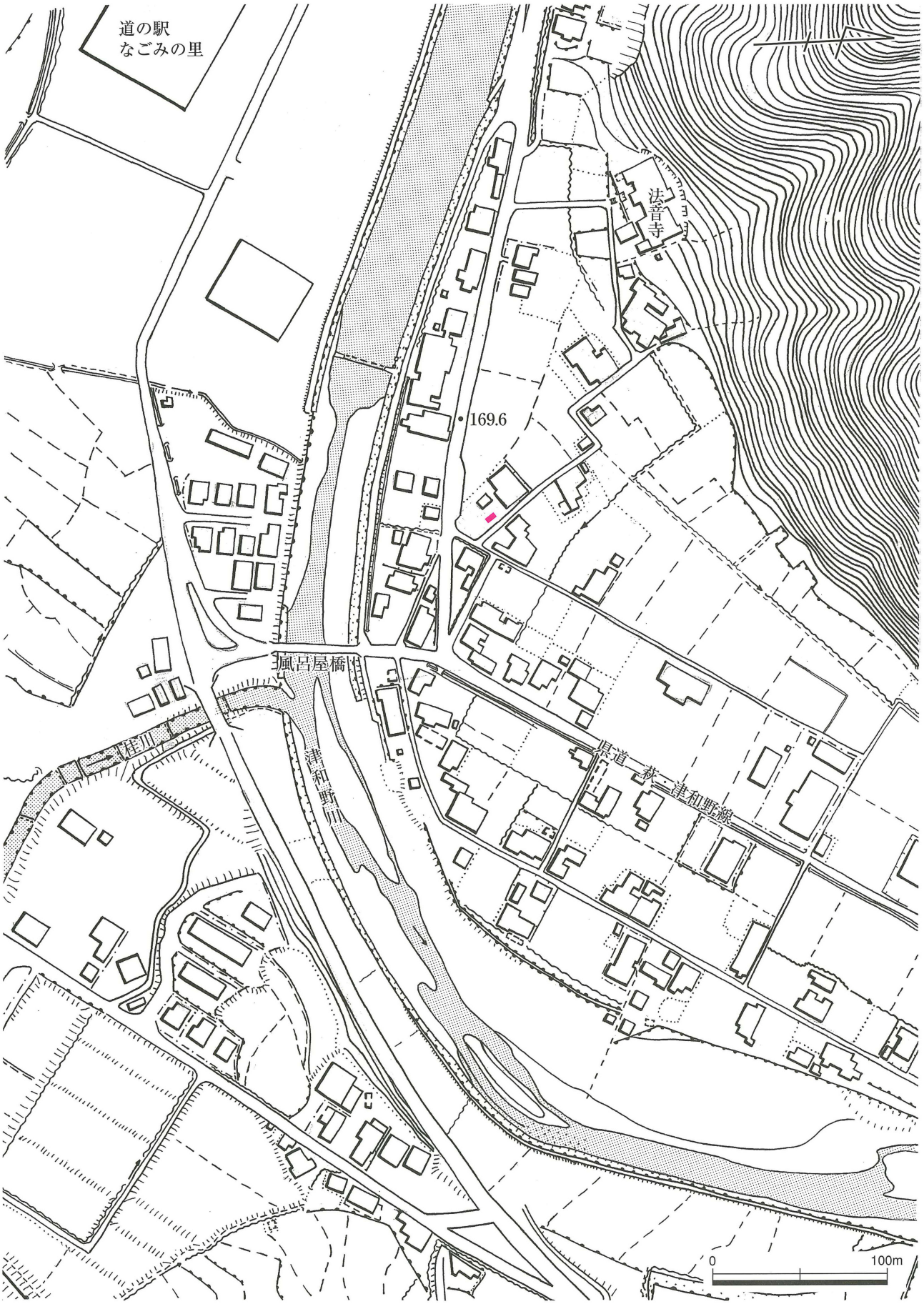
⑤遺跡の時代と種類　近世（江戸時代）の城下町

⑥主な発見遺構　　井戸、土坑

⑦主な出土物と概数　陶磁器（染付磁器・陶器など）ビニール１袋、
赤瓦・いぶし瓦　ビニール１袋、貝（さざえ）ビニール１袋、
土師質土器・瓦質土器　ビニール１袋、金属製品（キセル）ビニール１袋、
石製品（石鏃・黒曜石）ビニール１袋

⑧調査所見　　現代の造成土の下は、地表下約0.2～0.5ｍまで周知の遺跡である近世（江戸時代）の城下町遺跡が存在していることを確認した。地表下約0.5ｍ以下は砂と石の混ざった土であり、津和野川の氾濫による堆積層であると考えられる。
検出した遺構は、井戸１ヶ所と土坑１ヶ所である。井戸の内径は約65㎝であり、10～50㎝程度の川原石を積み上げてある。この井戸については、浄化槽の位置を北西側に変更することで現状保存されることになったため、井戸底までは完掘していない。井戸内からは、いぶし瓦や炭が出土していることから、江戸時代前半期の火災後に埋められた可能性がある。

今回の調査地点は、津和野城下町遺跡の他の調査地点と比較すると、江戸時代の火災層や、造成土が薄いことが特徴的である。このことは、城下町の南端近くで大火の影響を受けにくかったことも要因として考えられる。なお、調査地周辺の造成土からは、縄文～弥生時代の石鏃・黒曜石が採取されており、近隣にある縄文～弥生時代の遺跡から造成土が運搬されてきた可能性が高い。



第３図　鷲原地区試掘調査配置図

図版1

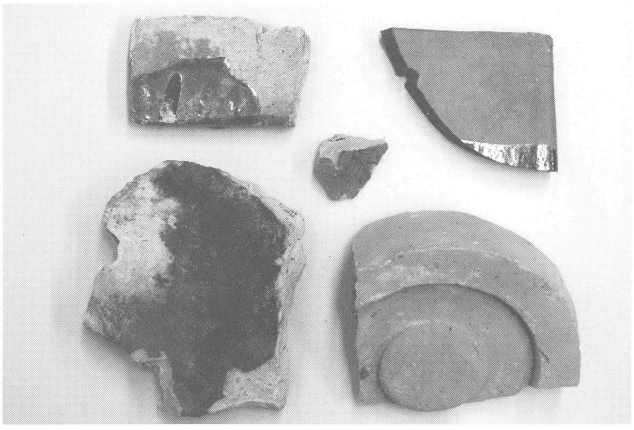
1．発掘調査前

4．発掘調査後

2．発掘調査の様子

5．出土した陶磁器

3．井戸の発掘状況



6．出土した瓦

第２項　森村地区

①住所　　津和野町森村ロ82番の５外

②調査原因　　店舗新築予定

③調査内容　　店舗新築予定範囲のうち試掘坑を２ヶ所設置し、試掘調査を実施。

④調査結果　　遺跡（城下町遺跡）の存在を確認した。

⑤遺跡の時代と種類　　近世（江戸時代）の城下町

⑥主な発見遺構　　基礎石、集石、焼土、庭

⑦主な出土遺物と概数　　陶磁器ビニール４袋、瓦質土器ビニール１袋、瓦ビニール４袋、土師質土器ビニール１袋、金属製品ビニール２袋、木製品ビニール１袋

⑧調査所見

Ａ地点

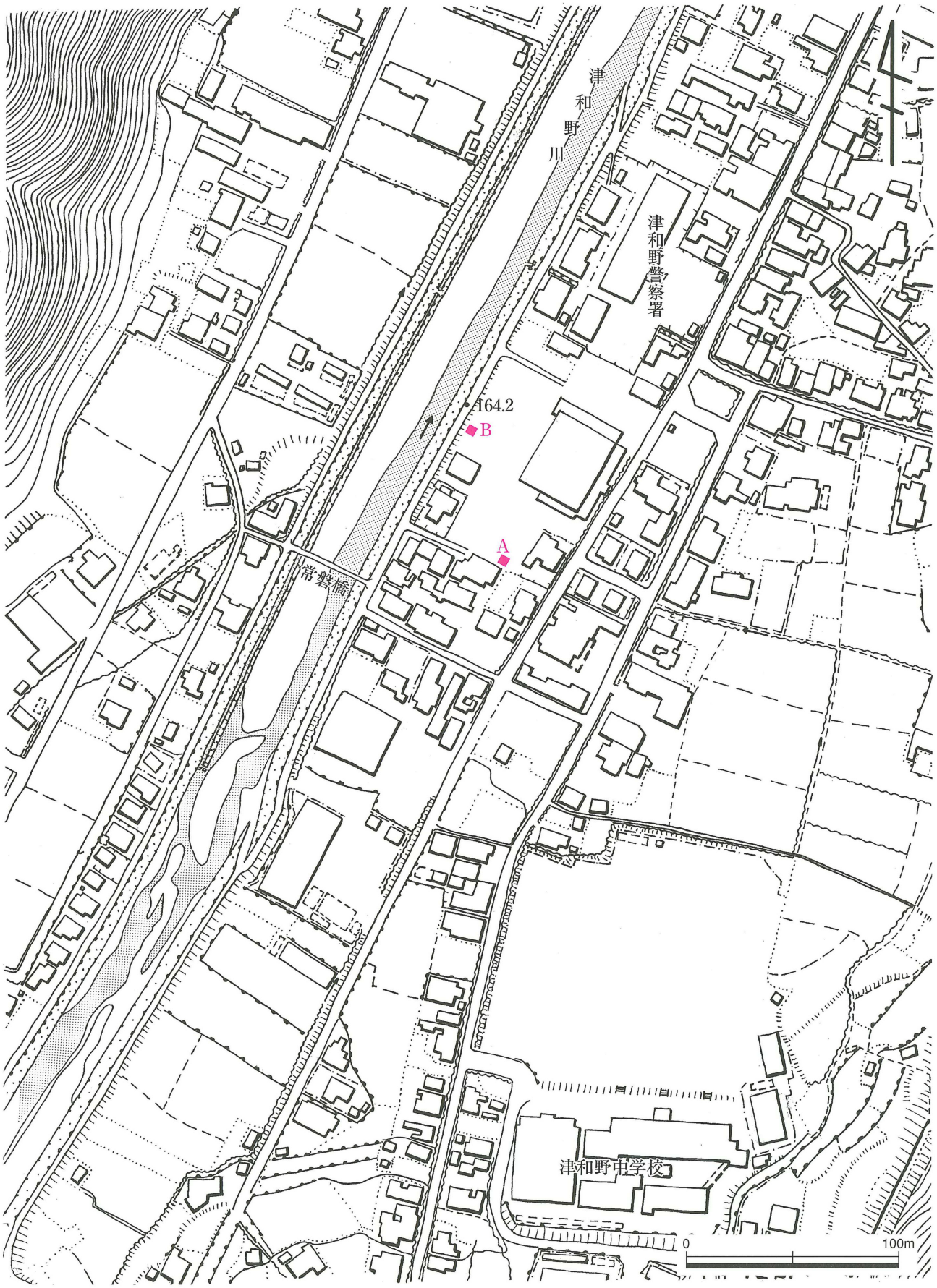
地表下約20㎝までは現代の盛土である。以下に旧耕作土・床土層が存在する。確認した遺構面は４面である。第１遺構面（地表下約45㎝　標高162.649m）では、焼土が検出された。しかし、東側半分は撹乱を受けている可能性があり、焼土が検出されなかった。第２遺構面（地表下約60㎝　標高約162.499m）では焼土と焼石が検出された。焼土中には、瓦や陶器類の遺物が多く含まれていた。第３遺構面（地表下約90㎝　標高約162.099m）は、集石が検出されている。第４遺構面（地表下約１m　標高約162.099m）では、集石と溝状遺構が検出された。第４遺構面より下は河川堆積の砂質土である可能性が高い。

Ｂ地点

地表下約30㎝までは現代の盛土である。以下に旧耕作土・床土層が存在する。確認した遺構面は４面である。第１遺構面（地表下約60㎝　標高約162.439m）では基礎石が検出された。第２遺構面（地表下約70㎝　標高約162.339m）では、集石が検出された。

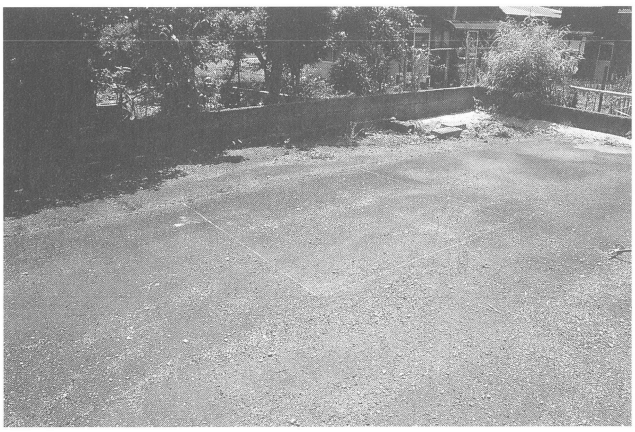
第３遺構面（地表下約100m　標高約161.939m）では、集石と庭（池と築山）ではないかと思われる遺構が検出された。第４遺構面より下は河川堆積の砂質土である可能性が高い。

Ａ地点周辺は、標高約162.6m以下に城下町遺跡が現存している。Ｂ地点周辺は、標高約162.4m以下に城下町遺跡が現存している。なお、ＢＭはＳＳ１（163.169m）を基準とした。



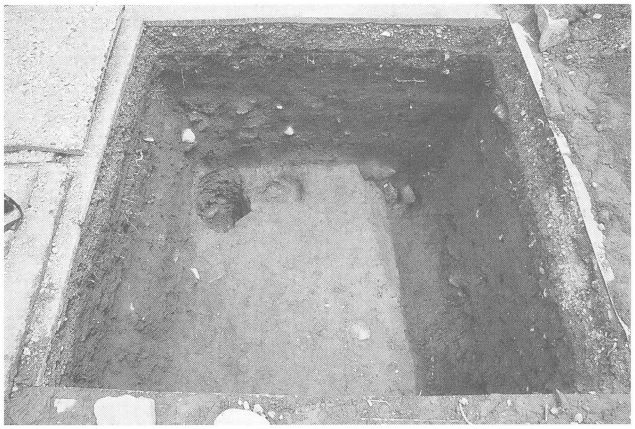
第４図　森村地区試掘調査配置図

図版2

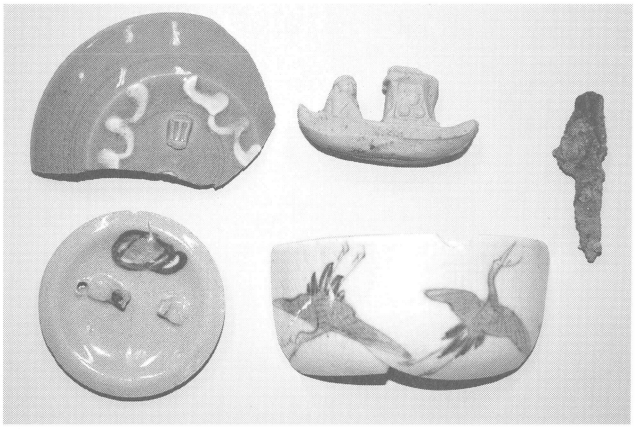


1．調査Ａ地点

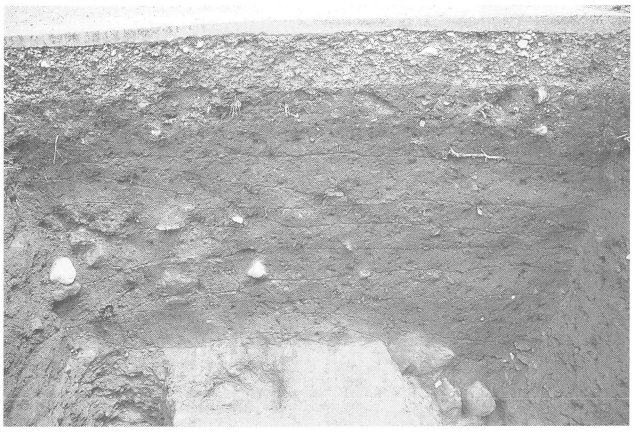
4．遺構検出状況



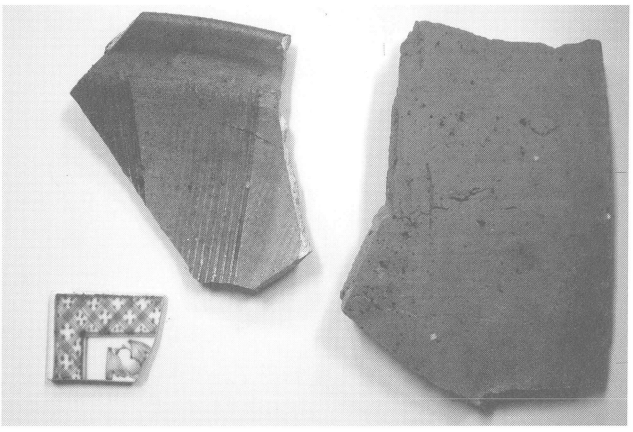
2．完掘状況



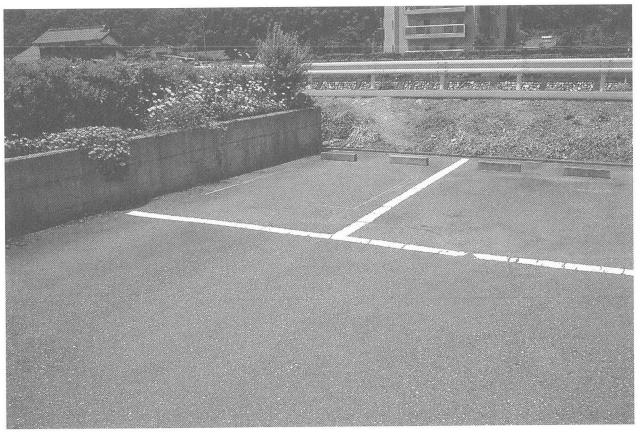
5．出土遺物（上層）



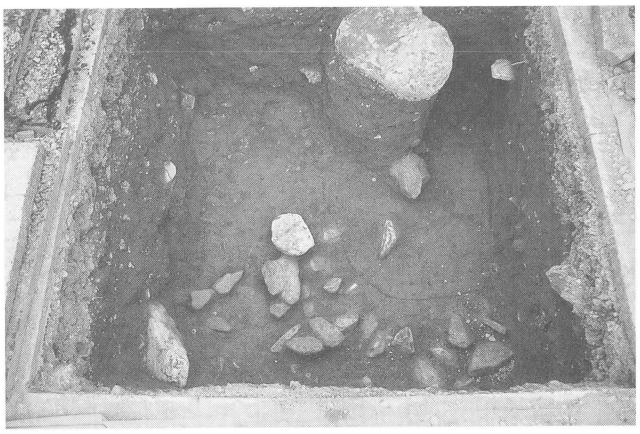
3．土層（北壁）



6．出土遺物（下層）

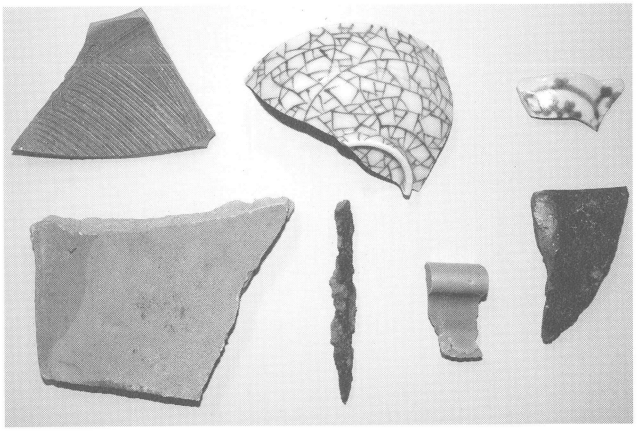


1．調査B地点

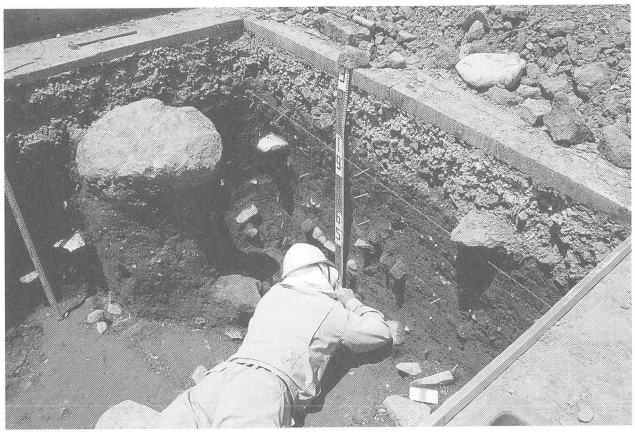


4．遺構検出状況

2．土層（西壁）



5．出土遺物（上層）



3．調査状況

6．出土遺物（下層）

第３項　滝元地区

①住所　津和野町滝元1712

②調査原因　ＮＴＴ基地局予定

③調査内容　工事予定範囲を対象にして試掘調査を実施。

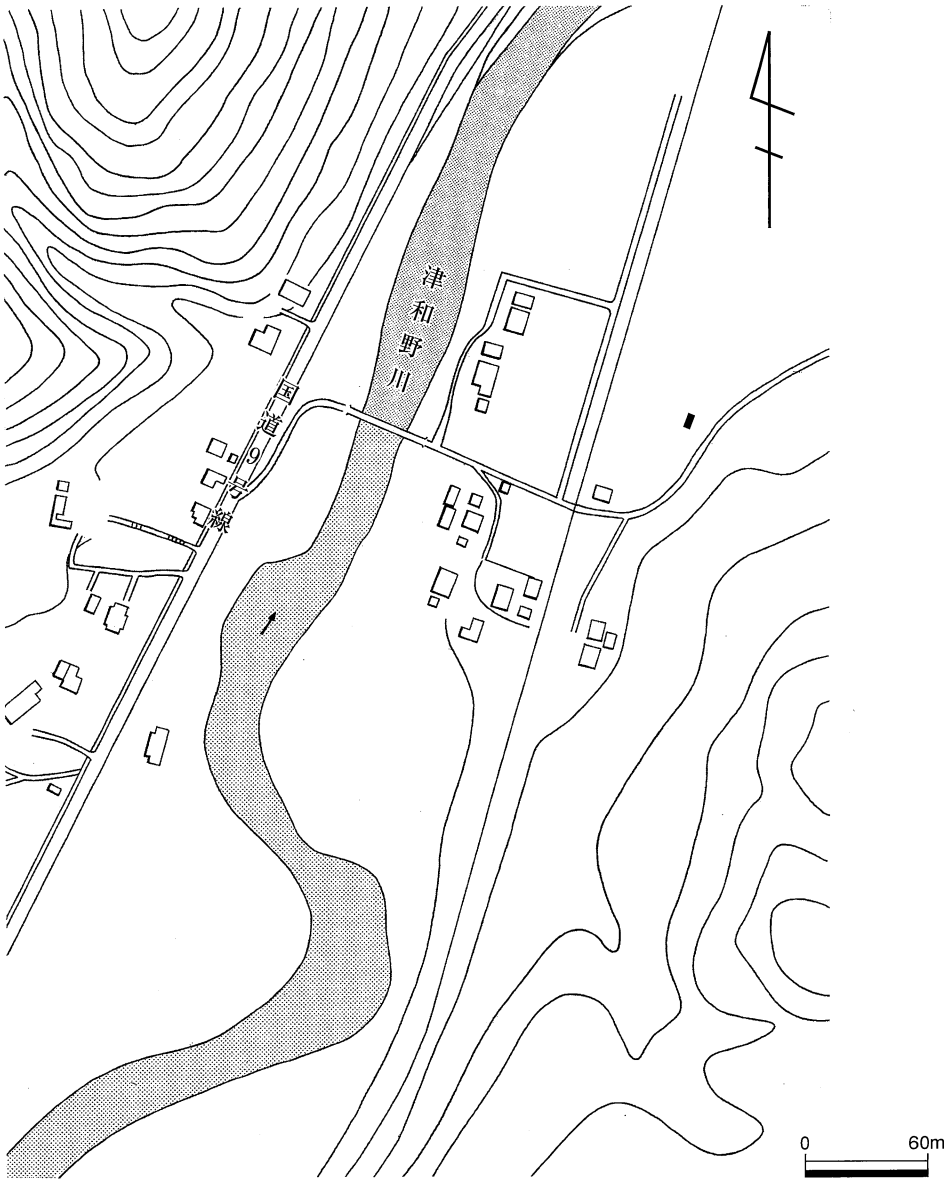
④調査結果　遺跡の存在は確認できなかった。

⑤遺跡の時代と種類　なし

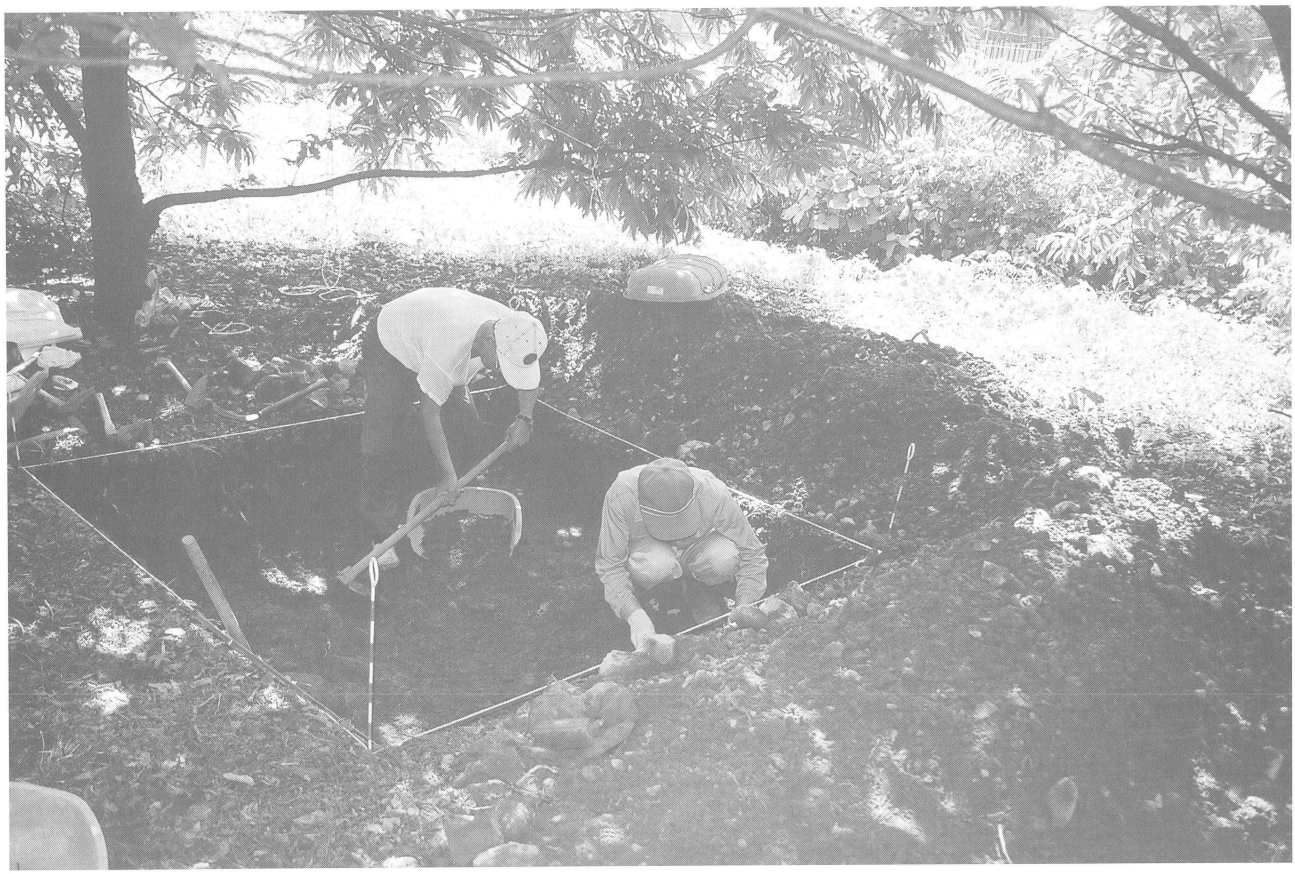
⑥主な発見遺構　なし

⑦主な出土品と概調査数　なし

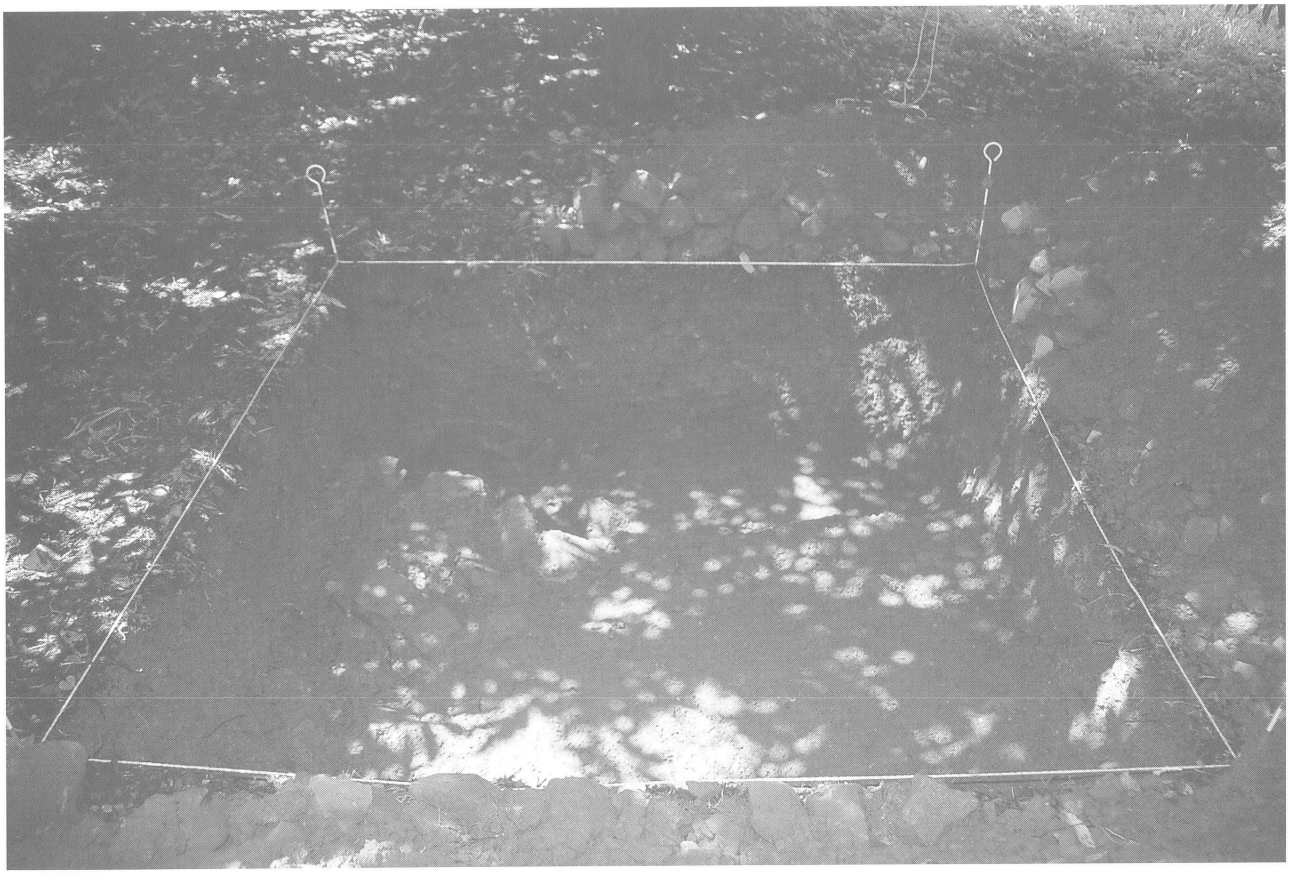
⑧調査所見　当該事業計画区域内において、２ｍ×２ｍ四方の試掘調査を実施した。その結果、遺物、遺構等は確認することはできなかった。しかし、計画予定地の南側100ｍ付近には倉地遺跡（縄文～弥生時代）がある。



第５図　滝元地区試掘調査配置図



1．発掘調査風景



2．完掘状況

第４項　柳地区

①住所　　津和野町柳村962他（鬼ヶ峠）

②調査原因　　日原地区簡易水道事業予定地

③調査内容　　簡易水道池予定地を対象にして試掘調査を１ヶ所実施。

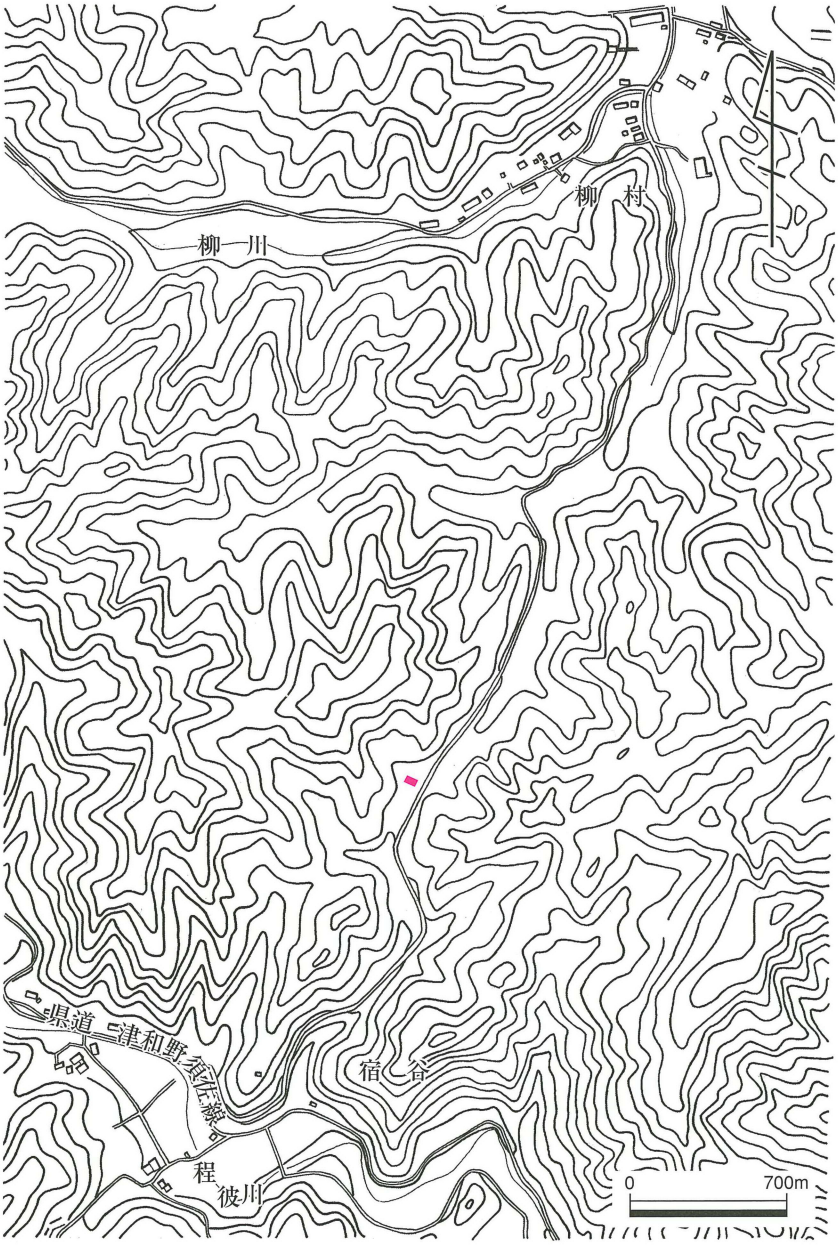
④調査結果　　遺跡の存在は確認できなかった。

⑤遺跡の時代と種類　なし

⑥主な発見遺構　　なし

⑦主な出土遺物　　なし

⑧調査所見　　当該事業計画区域内において、１ｍ×２ｍ四方の試掘調査を実施。その結果、遺物・遺構・遺物等は確認することはできなかった。しかし、計画予定地は山陰道に隣接している。



第６図　柳地区試掘調査配置図